

○里山の活用

関連する主な推進プログラム⑦⑧⑨

里山を、みどりとふれあうフィールドとして活用し、みどりの大切さを学びながら地球環境の保全や生物多様性の保全、低炭素社会の取組みに向けた市民意識の醸成を図るほか、みどり資源の有効利用にも取組みましょう。

各担い手の役割	●市 民	市民は、活動団体や行政、企業が企画する里山活動やイベントに参加するなど、積極的に自然にふれあい楽しみながら里山が持つ機能について理解を深めましょう。
	●活動団体	活動団体は、行政との連携のもと、それぞれの目的に応じ、自然とのふれあい活動や環境教育、みどりのリサイクル活動など、自主的な里山活用活動を展開しましょう。
	●企 業	企業は、里山を活用した観光イベントの開催や地材地消の取組みを進めましょう。
	●大学・専門	大学など専門機関は、里山の活用に向けた技術支援を行いましょう。
	●行 政	行政は、市有林の活用を進めるほか、市民活動のための場や機会、資材の提供、関係者や関係機関との調整・コーディネートを行います。また、木質系バイオマス燃料など、森林資源の循環利用のしくみづくりを進めます。

D-4 里山の活用

●里山でのイベント例

森林ボランティアや行政による森と親しむイベントに多くの市民が参加しています。



ふれあいの森の観察会



旭山都市環境林での間伐体験



きのこ観察会[中央区]

●間伐材の活用例

間伐材を活用して、きのこづくりや、木工体験などを行っています。



間伐材を活用したきのこづくり[清田区]



ふれあいの森での木工クラフト体験

ペレットストーブの 燃料として活用

間伐材などの木を
材料としたペレット
燃料の生産と活用。



制度・
メニュー
支援

ボランティア

*くみどりのボランティア
森林ボランティア
制度

P.112

目 里地の活動

<里地のみどりづくりのあり方>

市街地をとりまく里地のみどりは、生産の場・生物の生息移動空間として維持していくほか、市民のみどりとふれあうライフスタイルのフィールドとして活用し、札幌らしい良好な都市景観・都市環境の維持向上を目指しましょう。

○里地の保全 P.109

目-1 里地の保全

関連する主な推進プログラム

7⑨

○里地の活用 P.110

目-2 農地を活用した農とふれあう場づくり

目-3 草地や水辺を活用したふれあいの場づくり

関連する主な推進プログラム

7⑨

○新たな森づくり P.111

目-4 新たな森づくり

関連する主な推進プログラム

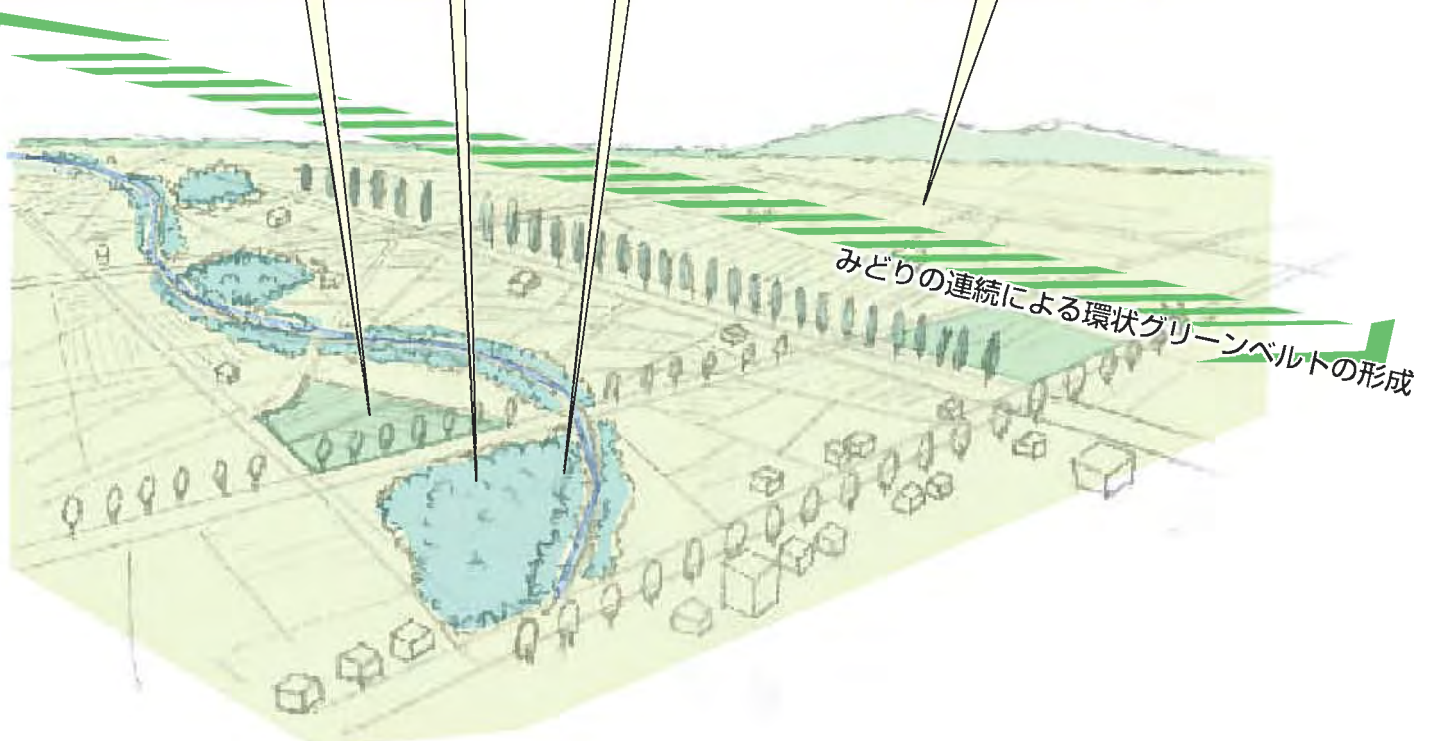
7⑨⑩

目-4 新たな森づくり
取組み例：P.111

目-3 草地や水辺を活用したふれあいの場づくり
取組み例：P.110

目-2 農地を活用した農とふれあう場づくり
取組み例：P.110

目-1 里地の保全
取組み例：P.109



○里地の保全

関連する主な推進プログラム⑦⑨

札幌らしさを表す良好な都市景観・都市環境を維持する農地や草地、防風林などは、かけがえのない里地の資産として次世代に引き継いでいきましょう。また、水辺のみどりの保全に取り組み、生物の生息・移動空間の確保や、うるおいある景観づくりを行いきましょう。

各担い手の役割	●市民	市民は、市街地近郊の貴重な農地や草地、防風林を、札幌郊外の景観を形成するまちの財産として認識しましょう。
	●活動団体	市民、活動団体、企業は、里地に残る連続的なみどりが、生物の生息・移動空間として、また、里地を特徴づける景観資源として重要であることを認識し、保全活動に参加しましょう。
	●企業	市民、活動団体、企業は、里地に残る連続的なみどりが、生物の生息・移動空間として、また、里地を特徴づける景観資源として重要であることを認識し、保全活動に参加しましょう。
●行政	行政は、制度の運用によるみどりの保全や、市民、企業（農業者）の活動支援を行います。	

目-1 里地の保全

●農地

北区篠路や東区中沼には酪農家が多く、牧草の収穫時期を中心として、市民に牧歌的な風景を提供しています。



牧草地[東区]

●草地・水辺

里地に残る草地・水辺は、里地の中の大切なみどりの一つとして、生物の生息空間として貴重な場所となっています。



あいの里公園

●防風林

里地に残る防風林は、里地の中の大切なみどりの一つとして、景観、防災、環境など多様な価値があります。



防風林[東区]

メ
ニ
ユ
ー
|
制
度
・
支
援



みどりをつくる

* 保存樹木

* 保存並木

P.116

○里地の活用

関連する主な推進プログラム⑦⑨

市街地をとりまく農地や草地、水辺などを、みどりとふれあうライフスタイルのフィールドとして活用しましょう。

各担い手の役割	<ul style="list-style-type: none"> ●市 民 ●活動団体 ●企 業 	<p>市民は、市民農園を利用して、みどりとふれあうライフスタイルを楽しみましょう。また、草地や水辺を活かしたふれあいの場づくりを進めていきましょう。</p> <p>市民は、札幌の農業を支援し守るため、地元の農産物を積極的に購入・消費することによって地産地消を定着させましょう。</p> <p>農家、法人などは、農地を市民農園など有効に活用し、地域農業や地域経済の活性化につなげましょう。</p> <p>農業者は、農地を都市環境の一部として耕作・保全しましょう。</p>
	●行 政	<p>行政は市民農園を利用したい人のために、利用者の募集を広く市民にPRします。</p> <p>行政は札幌の農業に関するさまざまな普及、市民への啓発活動を行い、生産者、市民の取組みを直接的、間接的に支援します。</p>

目-2 農地を活用した農とふれあう場づくり 目-3 草地や水辺を活用したふれあいの場づくり

●草地や水辺を活用した場づくりの事例

公園、緑地内の草地や水辺を活用した、ふれあいの場づくりが活動団体によって進められています。



あいの里公園の沼清掃

●農地の有効活用の事例

地域コミュニティの活性化、農業に対する理解を深める場として、子どもからお年寄りまで幅広く農業体験ができます。



農地の活用[東区]



富丘西公園の草刈り

市民農園について

市民農園は、札幌市が開設している市民農園のほか「市民農園整備促進法」に基づき農家の方が開設している市民農園が市内に18カ所あります。

開設する方に施設整備(給水設備、駐車場、休憩所、トイレ、看板等)に要する経費の一部を補助しています。

○新たな森づくり

関連する主な推進プログラム⑦⑨⑩

里地での環状グリーンベルト形成に向けて、農地や草地、防風林などの保全のほか、公園予定地を活用し、生物の生息・移動空間の確保や低炭素社会に向けた新たな森づくりに取組みましょう。

各担い手の役割	●市民	市民は、行政や活動団体が企画する植樹祭に参加したり、植樹のための基金に寄付したりするなど、森づくり活動に積極的に参画しましょう。
	●活動団体	活動団体は、行政が企画する植樹祭に参画するほか、行政との協働による自主的な森づくり活動を展開しましょう。
	●企業	企業は、森づくり活動に積極的に参加するほか、ネーミングライツによる森づくり活動、企業CSR活動としての資金や資材の提供、人材の提供などを行いましょう。
	●大学・専門	大学など専門機関は、植樹技術・森づくりの意義について研究・開発・普及に努めましょう。
	●行政	行政は森づくりのための植樹祭などを企画するほか、森づくりのための土地の確保や提供、資材の提供、各種活動の調整・コーディネートを行います。

目-4 新たな森づくり

●新たな森づくりの取組みの例

行政や活動団体が企画する植樹祭や、企業の森づくり活動などを通して、新たな森づくりが進められています。



企業との連携による山口緑地での植樹



山口緑地で行われているさっぽろふるさとの森づくり植樹祭



地域住民による五天山公園への植樹

制度・メニュー

● 緑化の支援

* 記念樹プレゼント事業

P.115